

JAWIC

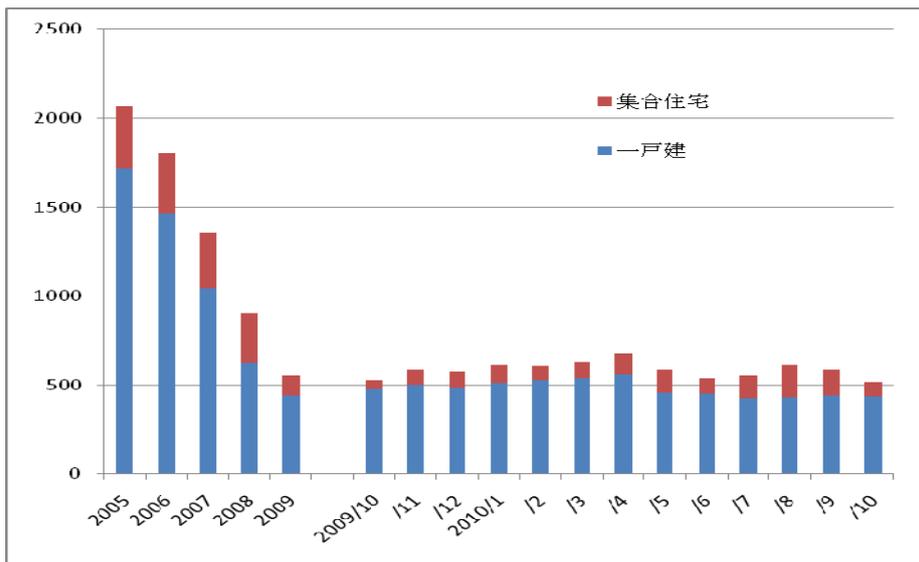
Seattle News

米国 10月の住宅着工は年率 51.9 万戸、1 年半ぶりの低水準

10月の住宅着工は年率 51.9 万戸、前月比 - 11.7% (前年同月比 - 1.9%) と大方の予想を大きく下回り、2009 年 4 月の 47.7 万戸以来の低水準となった。月ごとの増減の激しい集合住宅が前月比 - 43.5% と大幅に落ち込んだため、一戸建てに限れば年率 43.6 万戸で前月比 - 1.1% の微減 (前年同月比 - 8.2%)。地域別には北東部で増加 (前月比 + 12.9%)、南部 (- 13.4%) および西部 (- 30.5%) で減少。建築許可数は年率 55.0 万戸と前月に比べ 0.5% 増加したが、前年同月比では - 4.5%。

雇用状況の改善は遅々としたペースであり (失業率 9.6% と高止まり)、また、フォクロージャー問題が依然として燻っていることから、住宅部門の低迷は当分続きそうである。

図：住宅着工数の推移 (1000 戸)



資料：商務省

注：年計は実数、月別は季節調整年率